

今年こそ、大きく羽ばたけ骨髓バンク

全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髓バンク
推進連絡協議会
〒160 東京都新宿区
愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者
渡辺 孝一
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:info@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655

新春ご挨拶

全国骨髓バンク推進連絡協議会
会長 海部幸世

全国骨髓バンク推進連絡協議会
運営委員長 陽田秀夫



新年あけましておめでとう存じます。

昨年は本当に皆様ご苦労さまでございました。おかげさまで私たちボランティアは充実した1年を送れたものと思っております。

しかしながら、まだまだ骨髓バンクの恩恵に浴せず無念の結果を迎えられ、この新春を祝うことができない方がおいでになることも忘れることはできません。当初掲げた目標に力及ばなかつたことを謙虚に反省し、新たな意欲で取り組む気概を持って新年に臨む必要があるのではないのでしょうか。

私もこの骨髓バンクを大きく育てていく運動をライフワークとして位置づけ、さらに渾身の努力を重ねることを、年頭にあたり誓いたいと思います。

1998年が良き年であったといえるよう、力を合わせて進んでいきたいと思います。皆様方のご健勝をご祈念申し上げます。

あけましておめでとう存じます。

昨年の骨髓バンクをめぐる状況は、年頭で移植手術を突破し、国際協力も本格的に動き出した。私たち全国協議会も「広がれ骨髓バンクキャンペーン」など、全国各地団体のご協力を実現できた大型イベントが息づく暇もなく続きました。さらに各地で独創的で活発な普及活動が例年以上に大きく展開されました。

にもかかわらず、丸6年を経た現在でもドナー登録はようやく9万人、救いは年末にきて問い合わせ・申込が殺到していること。12月は日本赤十字社の英断によりデータセンターの週末登録が一部実現しました。この盛り上がり何となく継続させ、今年から年間3万人の登録が実現すれば、10年で20万人の登録が達成できるはずで。

財団、日赤、自治体そして私たちボランティアの良き連帯を保ち、お互いに創意と工夫を発揮すれば、必ず大いなる成果が生まれるでしょう。目標を高く掲げ、今年も大いに頑張りましょう。

休日登録の道開かれる 骨髓バンク推進全国大会'97

「骨髓バンク推進全国大会'97」が、12月6日江戸東京博物館で開かれました。式典で、海部会長に代わって来賓挨拶した陽田委員長は骨髓バンクへの補助金が削減されようとしていることに触れ、補助金の維持・増額と患者負担の軽減に向け、100万人署名活動を進めており、関係者の協力を訴えました。



大会の中では、インターネット「財団のホームページ」が当日から仮開設されたことをはじめ、次の点が報告されました。

- 患者相談窓口を12月15日から開設
- BM DW(世界骨髓バンクデータ機構)に年明けにも加盟(31ヶ国、400万人以上のデータが登録され即座に検索できるようになる)
- 日赤が各地のデータセンター
- 地区普及広報委員にPTA役員を検討
- 骨髓バンクの内容が英語の教科書(2冊)に取り上げられた

百万人署名第一次分を国会提出 第二次集約は1月末までに

「骨髓バンク事業の安定的発展と患者の経済的負担の軽減を実現する署名」活動が、100万人を目指して各地で精力的に取り組まれています。全国協議会では、その第一次分(1万1千人分)を12月5日に国会を訪れ、衆・参の各党の国会議員を紹介議員として提出しました。第2次集約は、下記あてに1月末までにお願います。

〒276 千葉県八千代市大和田269-2 大和田ハウス103号
山村 詔一郎
(TEL) 0474-87-5816

中日社会功労賞を受賞して

全国協議会副会長 大谷貴子

この度中日新聞社主催の第45回中日社会功労賞を受賞致しました。

この賞は読んで字のごとく、長きにわたって社会に功労を続けた人に与えられる賞で、当然ながら、お歳を召した方ばかりの受賞者の中、最年少受賞となりました。当然、骨髓バンクも出来てまだ10年未満なので、賞です。しかし、何はともあれ、朝日社会福祉賞といい、中日社会功労賞といい、骨髓バンクが社会に認知され、また骨髓バンク運動に関わってきたすべての人々に与えられた賞です。共に喜びを分かち合いたいものです。

第45回 中日社会功労賞贈呈式



海部会長もお忙しい中、授賞式に駆けつけて下さいました。まさに、喜びを分かちました。副賞の30万円は全国協議会に寄贈いたしました。

参加者募集中! メーリングリスト

全国協議会では昨年4月よりインターネットの電子メールシステムを活用して、メーリングリスト(ML)を開設しています。

MLとは、決まったメールアドレスにメールを送ると、そのMLの参加者全員に届く同報システムで、いわばインターネット上の会議室ともいえるものです。このMLを利用して、様々な情報や意見の交換を行っています。

ML参加者は全国各地で現在75名ほど、未加盟の団体会員やマスコミ記者、国会議員も参加しています。今、参加者を募集中です。電子メールの交換ができる環境にある方は、どなたでも参加することができます。参加希望者は、その旨を事務局のアドレス(jmdrpc@interlink.or.jp)あてに電子メールで申し込んでください。

骨髓バンクの最新情報をお知らせする——骨髓バンクNOW

- ACキャンペーンが大反響!
公共広告機構(AC)キャンペーンが10月末から全国のテレビ・ラジオと新聞で開始され大きな反響を呼んでいます。11月の電話問合せ件数は財団発足以来はじめての9000件を超えました。ドナー登録者拡大に向けて、何よりのご支援となっています。
- インターネットホームページ開設のお知らせ
財団のホームページを12月6日に仮開設しました。全体の完成は来春となります。アドレスはhttp://www.jmdp.or.jp/です。なお、インターネットによるドナー登録申込み受付も開始しています。
- 患者相談窓口開設のお知らせ
厚生省「造血細胞移植と免疫応答に関する研究班」は、12月15日から相談受付を開始しました。
電話番号03-3355-6888(平日13:00~17:00)

[11月末現在検査済みドナー登録者] 89,100人]
[11月末現在患者登録者] 1,609人]
[11月末現在移植件数] 1,357例]

骨髓バンクボランティアダイヤル
フリーダイヤル
0120-892-106

心からのご寄付を ありがとうございました

11月20日～12月18日		
松村裕子	現金	5,000円
大谷貴子	現金	300,000円
青木光正・浅海昇・平松靖史・荒川敬	現金	120,000円
稲次康三	現金	2,000円
山岡富美江	現金	100,000円
(社)日本毛皮協会・(社)日本デザイン文化協会	現金	200,000円
阿原一良	現金	20,000円
骨髄バンク推進ネットワーク	現金	55,243円
ピアノ三重奏(福島協議会)	現金	161,952円
大谷巻枝	現金	7,590円
山崎久江	現金	5,000円
苫小牧骨髄バンク推進会	現金	300,000円
ヒビヤウツズ	現金	30,000円
裾野市農業協同組合	現金	200,000円
(株)タムラコーポレーション	切手	855円
小浜幸雄	現金	50,000円
(敬称略)		

活動資金の援助をお願いします
 銀行口座
 さくら銀行 新宿支店
 普通 5666655
 郵便振替口座
 00150-4-15754
 全国骨髄バンク推進連絡協議会



前日に初降雪があつたにもかかわらず、お天気にも恵まれ、今シーズンのゴルフを締めくくるプレーを東北各地より参加された皆さんに楽しんでいただき、さらに骨髄バンクへの理解とご支援をいただき

12月14日の日曜日、神奈川県サポーターセンターにおいて、



神奈川県
 休日窓口開設で
 1日に65人の登録

同会が推奨する和泉省作さ

12月6日白血病で7才の命をとじた少年の童話「いのちのあさがお」(ハート出版刊・綾乃まさる作)が出版されました。

高知
 土佐清水市で啓蒙活動

新潟
 「命のアサガオ」運動が本になって出版!



光祐くんは、白血物の治療途上で惜しくも亡くなりましたが、その年の秋、光祐くんが育てていた朝顔が、たくさん種を残しました。

光祐くんのお母さん・まみ

この本は、新潟県中条町の少年・丹後光祐くんの実話に基づいて書かれています。

遠藤 允の会報づくり講座その⑨

文字編・数字
 日本語表記の標準とされる縦書きでの数字の扱いから取り上げよう。数字の扱いにも「原則」はある。これも実は共同通信社の「記者ハンドブック」に詳しい。

松本恭子さんのイラストもさわやかでコケティッシュと好評です。

「命のアサガオ」として、テレビ、新聞などで取り上げられ、2年間で約5000粒の種が遠く沖縄、福岡、山口、埼玉などへ配られました。

その後、種は光祐くんの「命のアサガオ」として、テレビ、新聞などで取り上げられ、2年間で約5000粒の種が遠く沖縄、福岡、山口、埼玉などへ配られました。

遠藤 允の会報づくり講座その⑨
 入れればいいはずだが、国際化が進む中では無理な相談かもしれない。

「各地のたより」へ積極的な投稿を
 =編集委員会より=

フジテレビを
 見て見ぬふりは
 やめまじやう。

180CCのいのち
 大竹あや

日本テレビ出版部
 TEL.03-5275-1111(大代表)
 FAX.03-5275-4017

ハート出版
 いのちのあさがお

送料 ¥210

「各地のたより」へ積極的な投稿を
 =編集委員会より=

「各地のたより」欄は、活動の交流の場です。編集委員会では、毎回原稿の依頼もしていますが、自主的・積極的に投稿してくれるようお願いいたします。

字数は300字程度、写真も沿えてください。

〒171 東京都豊島区池袋3-9-23
 TEL.0429-47-1155 FAX.47-1076
 http://www.j-link.or.jp/heart/